

2024年秋のチャリキャンブひとり旅(その一)

野田 俊

会社を辞めた2020年の秋は、失業手当をもらうため、神戸在住を余儀なくされたが、その翌年以降は、九州への旅を続け、今回で4年目となる秋の旅は、大分からスタートし、鹿児島まで自走したあと、種子島、沖縄本島、石垣島、西表島、そして昨秋に行けなかった、台湾有事問題で影響が懸念される日本最西端の与那国島まで行く計画だ。帰還予定は11月中旬、約30日間の旅が始まる。

●2024年10月9日(水) 1日目 晴れ

神戸北町↓新神戸駅↓JR↓小倉駅↓JR↓大分駅

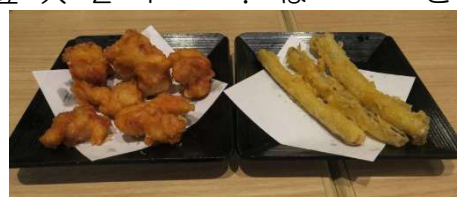
今日は、新神戸駅から新幹線で小倉まで移動し、銑鉄営業時代にお世話になった小倉在住で元K野産業のY本氏と会って食事したあと、特急ソニック号で大分まで輸送する旅。9時に自宅を出て、嫁さんに車で新神戸駅まで送ってもらい、10時前の「のぞみ号」に乗車し、2時間後、小倉駅に着く。ホームにはY本さんが待機してくれていて、



まずは、大量の荷物を在来線のホームまで運ぶの手伝ってもらい、駅前にある地元うどん屋「資(すけ)さんうどん」に入り、軽く呑みながらランチタイム。Y本氏曰く、もつ鍋うどんがオススメらしいが、注



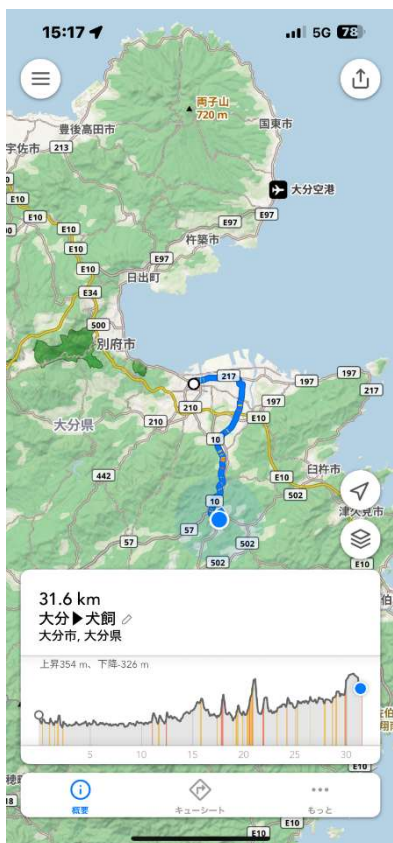
文すると、もつがないとのことなので、もう一つの名物「ごぼ天」と「唐揚げ」、そして「おでん」を注文、ごぼ天5本で110円はお安い！お互いに、うどんは頼まず、日本酒を2本ずつ呑んで、14時に別れて、ソニック27号に乗車し、15時半、大分駅に着き、自転車を組み立てて、駅前の東横インにチェックイン。



【本日の会計】¥3248 (JR代¥1826、ホテル代¥7030、昼食み代¥3940含む)

●2024年10月10日(木) 2日目 晴れ 北東3m

大分↓鶴崎↓犬飼





今日は、初日なので、大野川沿いに南下して、犬飼にあるキャンプ場まで約30キロの楽勝旅。快晴の中、遅めの10時半、大分駅前で見つけた全身像の前で出発ジャンプをする



もイマイチだし、像の主は、**大友宗麟**と云って、豊後の国では有名なしいが、全く知らないし、**大分駅の駅舎をバックに撮り直す**。犬飼まで最短コースを行くと、山越えになるので、一旦、東へかわしてから、大野川沿いに県道を走っていると、マクドの看板の下に「ゆ」の文字があり、珍しいのでパチリ。大分森町温泉「やまなみの湯」がマクドの裏手にあるようだ。小倉と鹿児島を結ぶ国道10号線を避けて、JR



豊肥本線沿いの県道を進み、犬飼駅に着くと、看板があり、ここ犬飼町は、**根岸崇一**と云う漫画家のふるさとで、漫画ファンの聖地になっているらしい。絵を見ると、何となく見たことがあるが。駅



を出ると、真っ赤な列車が丁度鉄橋を渡り始めたので、撮り鉄じゃないけど、一枚パチリ。今日のキャンプ場「**リバーパーク犬飼**」は、3年前に、当時小倉にいたK野産業のU氏と一緒にテントを張って、ホルモンやサンマを焼きながら、語り合った懐かしい場所である。その時と同じ場所にテントを張り、ランチを済まし、のんびりしていると、蚊が寄って来るので、蚊取り線香を出そうとするが、いくら探してもバッグにない！どうも忘れてきたらしい！プチショック。蚊よけスプレーで何とかなるも、スプレーは好きじゃないので、早く買わなくては、と思いながら、タエッセン。7月以来3か月ぶりに走ったので、案の定、テントで寝ていたら、太ももが攣り冷や汗が出るも、即、ツムラ6



8番を飲むと、攣りは治まる。ツムラ様さまである。

【走行距離34km 獲得標高202m】

【走行時間2:15 平均速度15.1km/h】

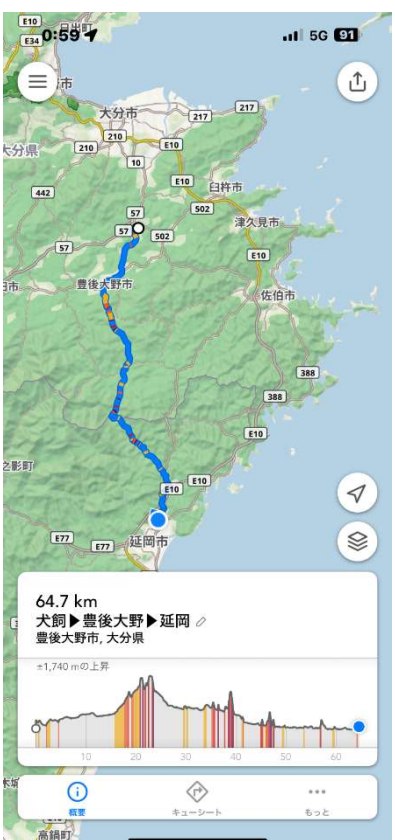
【本日の会計】¥2,253

【リバーパーク犬飼キャンプ場評価:4.4点】

1400円の利用料はチト高いが、1000円のランドリー、5分100円のシャワー、ウォッシュあり、電波OK、充電可、保冷剤の冷凍もしてくれるなど、インフラは完璧。ここまで揃っているのは珍しい。高台の上にあるので、アクセスはチトしんどいが、また来たいキャンプ場である。

●2024年10月11日(金) 3日目 晴れ 北2m

犬飼→三重→宇目→北川→延岡



今日は、まっすぐ南へ進み、高低図のように、峠をひとつ越えて、日向灘に面する延岡まで約65キロの旅。東にある佐伯(さいき)まで



行き、海岸線を南下する手もあるが、アップダウンの多いリアス海岸っぽいので、標高400m弱の峠道を選択する。高さはそこそこあるが、ピークまで登れば、あとは下りなので、気分的には楽なのだ。9時半、広いテ



トサイトをバックに出発ジャンプを決めて、小一時間走ると、丘の上にある「道の駅みえ」に着き、ここからの眺めは「江内戸(えないど)の景」と呼ばれ、大野川の両岸は河岸段丘になっていて、川に近い低い場所は水田、その上は麦畑、更にその上は、野菜畑や牧草地になっていて、豊かな穀倉地帯を形成しているのとこ

と。三重町を抜けて、そんなに勾配がきつくな、山をショートカットするトンネルが多い楽な峠道を越えて、豊後大野市から佐伯(さいき)市宇目町に入ると、「うめ





の町が近づき、鉄道用だ
と宮崎県になる。延岡
トンネルを抜けると、や
つと宮崎県になる。延岡
にあるので、またの機会
にして、先へ進み、長い
Oキ口先のもっと山の中
なければ、と思うも、1
ヤンプ場もあるし、行か
乳洞おたくとしては、キ



徴で、特に、ここ宇目地区の歌詞は喧嘩口調が激し
いらしい。子守歌なのに喧嘩なんて意味が分からない…。そして、こ
の町には3年前に訪れた土々呂と云う集落があり、ジブリの許可を得
て、「アニメ」となり「とろろ」のキャラクターがバス停などあちこちに
いるが、少し離れているので、今回はスルー。そして、「穂積水中鍾乳
洞」と云う日本一の水鍾乳洞もこの町にあり、鍾



に入る。子供が赤ちゃ
んをおんぶしているの
で、この辺りの子守歌
だろうか、調べてみる
と、大分に伝わる民謡
で、送りと返しからな
る対話形式の子守歌
で、攻撃的な歌詞が特



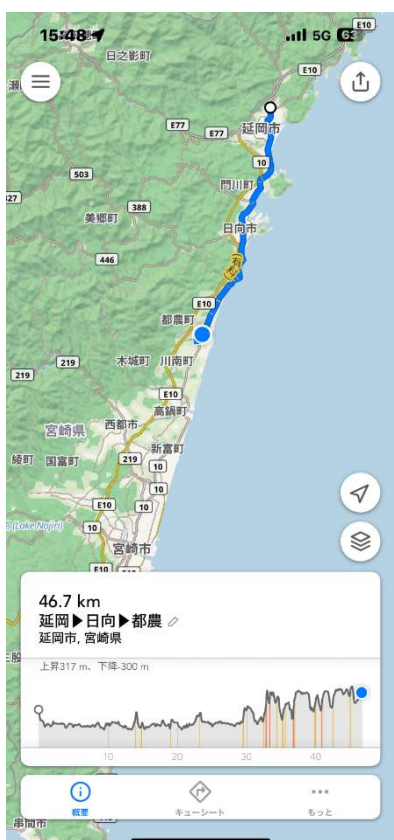
ホテルに泊まるのは二回目で、前回は全室禁煙だったのに、今回は喫
煙ルームがあり、禁煙の方は満室…喫煙でも余り匂わない場合もある
が、今日の部屋はメチャ臭い…外れである。でも、AZは自転車丸
ごと部屋まで持ち込めて、バッグを外したり、台車で運ばなくていい
し、朝食付き5000円も安くていい。しかし、今日は想定以上に足
が攣った日で、登り始めて、早めにツムラ6
8を飲むも、すぐに攣り始め、日に2回と書
いてあるが「攣っては飲んで攣っては飲ん
で」を繰り返すも、効き目はなく、連続服用
は意味がないと悟る日であった…。



ったと思われるト
ンネルを抜ける
と、今日の宿「ホ
テルAZ延岡店」
があり、もう15
時半になっしま
ったが、部屋で遅
めのランチタイ
ム。このチェー



●2024年10月12日(土) 4日目 晴れ 北3m
 延岡→土々呂ととろ(→日向(ひゅうが)→都農(つの))



今日は、日向灘に沿って南下し、都農(つの)と云う町にあるホテル
 AZまで約50キロの旅。大分から三日連続で北からのフォロー風の
 中、大谷さんのパドレス戦を1時間見てから、10時にホテルを出



て、名勝高千穂峡に
 繋がる五ヶ瀬川の河
 口を渡り、青い海を
 眺めながら快調に走
 る。海側にも土々呂
 と云う地名がある
 も、トトロは現れ
 ず、日向の町に近づ
 くと、南国宮崎らし



いやしの木が見え
 てくる。道の駅日
 向に寄ると、「へ
 す」と云う聞いた
 ことがない柑橘系
 のものがあり、カ
 ボス、スタチ、シ
 ークワサーと似
 ている。カボスよ
 り小さめで、スタ



チよりは大きい感じで、日向の平兵衛さんが最初に見つけた
 ので、「へす」の名が付いたらしい。日本酒に搾り汁を入れ
 るとスカッとするので、5個入って260円のを買う。東都
 農駅辺りから国道を外れて日豊本線沿
 いの県道に入ると、線路の向こうに真
 つすぐに伸びる高架鉄道が見えてき
 て、ソーラーパネルが乗ったりしてい
 るので、今は鉄道としては機能してい
 ないことがわかる。マップを見ると、
 「旧リニアモーターカー実験線」と
 あり、納得する。今は、山梨の方にも
 っと長い試験線があるが、その前はこ
 こで基本的なテスト走行を繰り返して





いたのだろう。太ももが筋肉痛の中、13時半、都農(つ)の()の町に着き、ホテルの近くで見つけた「集(つどい)」と云うお好み焼き屋さんに入り、**660円のオムブタ焼きそば**を注文。安い割にボリュームがあって、しかも

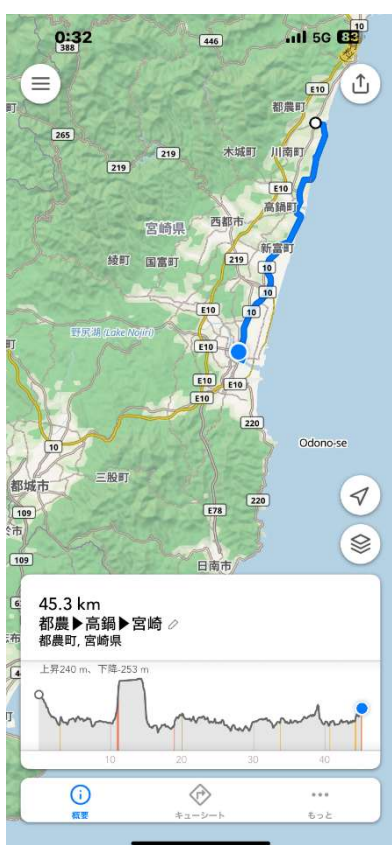


うまいので、暑かったせいもあり、生ビールを二杯も頼んでしまう。それでも1300円ほどで済む。お店のお母さんと話をしていると、生まれはここだが、30年ほど、神戸市北区淡河町に住んでいたらしく、拙宅から近いので、プチびっくり。15時前、ホテルA.Z.にチェックインし、シャワー、昼寝をしてから、ホテル内のレストランで、ピュッフェ方式のダイニング。ポテサラ、焼きそば、ブタ角煮、親子丼の具、牛丼の具しかなく、総菜類が少ないが、贅沢は言えない。阪神は、オ木が投げるも、横浜の東を打てず、1ー3で負け。でも、ドジャーズは、山本とダルビッシュの投げ合いで、大谷さんは4ー0だったけど、ドジャースが2ー0で勝つ。

【走行距離49km 獲得標高225m】



今日は、日向灘を更に南下して宮崎まで約45キロの旅。今日も追い風なので楽勝だが、最高気温が27℃と高いので、暑い一日になりそう。そして、今日は65回目の誕生日で、一年前は対馬の電波が全く入らないキャンプ場で心細い思いをしたが、今年はいい日になりそう。10時前にホテルを出て、高鍋の町に入り、海岸線の小道を走っていると、**アカウミガメの看板**があり、全く同じ看板を見た記憶があるので、調べると、6年前の2018年3月に、宮崎空港から高鍋の河原にあるキャンプ場へ行く際に、ここを通



【走行時間2:53 平均速度17.1km/h】
【本日の会計】¥9,407 (ホテル代¥5,710含む)
●2024年10月13日(日) 5日目 晴れ 北東3m
都農→高鍋→シーガイア→宮崎



快。しかし、綺麗な砂浜が波に洗われて、徐々に失われているらしく、ここ宮崎海岸の修復保全工事が行われている。シーガイアの高層ホテルが見えてきて、高速道路の向こう側は、あの有名なフ



があり、温度を高くして成長を早めているのだろう。養殖鰻は隣の鹿児島が有名だが、宮崎も天候的に恵まれているので、最近増えているのかもしれない。日向大橋を渡り、海岸線沿いにある自転車道に入ると、日向灘の真っすぐ伸びる砂浜と白い波しぶ



っている。あの時は、この看板を見たあと、道が行き止まりになっていて、1キロほど戻ったので、記憶に残っている。倉庫みたいな綺麗な建物があり、看板には「たかまさうなぎ」とあるので、きっとあの中では、うなぎを育てる池か水槽

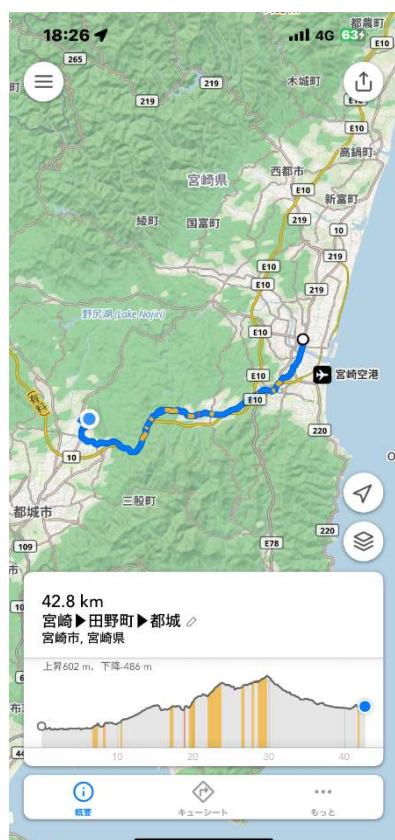


エニックスカントリークラブのゴルフコースである。15年ほど前だろうか、阪急交通社のゴルフツアーで来たことがあるが、スコアは別にして、綺麗なコースでプチ感動した記憶がある。姉妹コースであるトムワトソンゴルフクラブの方も、同じくらい良かった気がする。サンビーチリゾートから内陸部へ入ると、サーカスのような派手なテントが見えてきたので、入り口まで行くと、なんとあの「木下大サーカス団」である。9月22日から12月9日まで約80日間の興行で、日に2〜3回、4000円で入れるようで、お得な気がする。13時半、宮崎市内の中央通りにある東横インにチェックインし、宮崎地鶏の唐揚げと手羽先のランチタイム。15時に部屋へ入り、シャワー、ランドリー、買い出しをして、夜は阪神の試合を観て寝る。阪神は、高橋はるとが先発するも、梅野のリードが悪く、横浜に3-10の大敗を喫す…



●2024年10月14日(月) 6日目 曇り 南西5m
【走行距離53km 獲得標高176m】
【走行時間3:01 平均速度17.5km/h】
【本日の会計】¥10269 (ホテル代¥8170含み)

宮崎↓田野↓都城



南方の青島や都井岬に繋がる海岸線は、6年前に走ったことがあるので、今日は、西へ進路を変えて、都城にあるキャンプ場まで約45キロの旅。朝方まで降っていた雨は止むも、10時からまた降り出したため、ホテルのロビーで待機する。11時過ぎに止んだので、イマイ



チの出発ジャンプをして、南西へ向かう。清武の町を通過し、田野の町に入ると、雨がポツポツ降り出したので、ちょうどあった「あけみ食堂」の軒下に自転



車を置き、雨雲レーダーを見ると、1時間ぐらい続きそうなので、店内に入り、あんかけ焼きそばを注文すると、大きめのお皿いっぱいに入ったあんかけが出てきて、ライスも小を頼んだのに、大盛りで、ライスを頼まな

ければよかったとプチ後悔。でも何とか完食して、13時半過ぎにお店を出て、名もなき峠を目指して上っていると、半年前に阪急交通社のゴルフツアーで来た「宮崎空港カントリークラブ」の看板が！あの時は宮崎市内からレンタカーを運転して来たのだが、同じ道走っていると全く気付かず、車と違い、自転車では走る道の方が如何に印象に残るのか、と改めて思う。車は点から点へ繋ぐだけだが、自転車は点だけでなく線も記憶に残るのだ。峠を越えて、都城市に入り、下っていると、また雨が降ってくるも、丁度「道の駅山之口」に着き、トイレ休憩を兼ねて、雨宿り。すると、さっき無言で抜いていったミズベロ野郎が、本降りの中、道の駅に寄らず、通過していくのが見える。15分ほどで雨が止んだので、下っている





と、歩道でスマホ
を見ているミニベ
ロ野郎を発見！無
言で抜き返し、ス
ッキリする。結
局、雨宿り運に恵
まれ、濡れること
なく、16時前、

観音寺公園キャン

プ場に着き、東



屋の横に設営してから、隣接の日帰り温泉
「さくらの湯」に入る。テントに戻ると、
雨雲が去り、代わりに青空が拡がりつつあ
る夕陽を眺めながら、麻婆豆腐のタエッセ
ン。阪神の試合はなかったが、ドジャーズ
は、千賀のメッツに9-0で圧勝。大谷さ

んは2安打、千賀は2回3失点。

【走行距離45km 獲得標高476m】

【走行時間3:03 平均速度14.8km/h】

【今日の会計】¥2,260

【観音寺公園オートキャンプ場評価：4.1点】

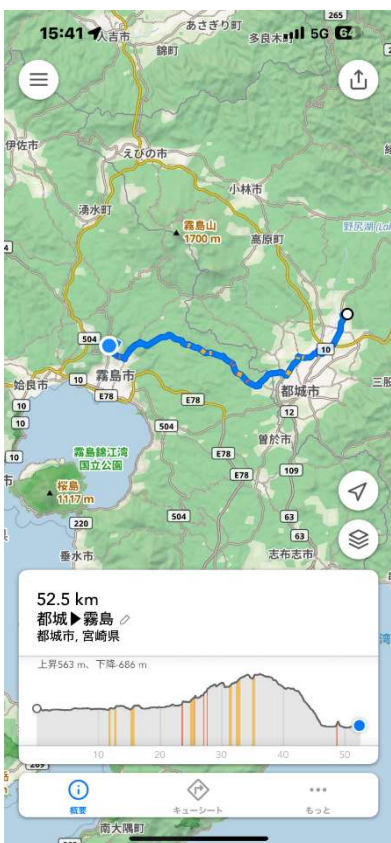
アクセスよし、サイト面よし、温泉よし、ウオッシュよし、管理人優
し、保冷剤冷凍よし、電波よし、蚊なし、雨除けよし、トイレ近し。

充電とランドリーはないが、ほぼ完璧なキャンプ場で、充電も、管理
人をお願いすれば、してくれそう。隣接の温泉もキャンプ利用者は半
額の210円で入れるので、また泊まりたいキャンプ場である。

2024年秋のチャリキャンプひとり旅(その二)

野田 俊

●2024年10月15日(火) 7日目 曇り 東3m
山之口→都城→財部(たからべ)→曾於(そお)→霧島



今日は、宮崎県都城市の北部にある山之口のキャンプ場から、市内を



抜けて鹿児島県の霧島にあるキャンプ場まで約50キロの旅。9時に快道だったキャンプ場を出て、南西に向かっていて、稲刈り作業をしており、コンバイン機の後ろで、束になったわらを拾って立てている人がい



る。そして、そのわらが一杯立っている田んぼがあり、こんな風になるんだとブチ納得。鹿児島県に入ると、綺麗に刈り込まれた茶畑があり、**鹿児島名産の知覧茶**である。宇治の方はハンドタイプの



刈り取り機だが、こっちは、乗車型の刈り取り機である。だから宇治よりも畑の幅が広がっている。曾於(そお)の町に入り、左に曲がれば志布志方面に行くが、キャンプ場は霧島にあるので直進する。霧島には学生の時にひとりで飯盒を炊いたJR霧島神宮駅があり、マツダのコスモに乗ったお姉さんに声を掛けられたことがある。ヤンキー風でビビったが、看護婦さんだとわかり、ホッと

した記憶がある。海辺にある国分海浜公園キャンプ場は定休日で、グーグルでやっと見つけたキャンプ場にはシャワーもないようなので、手前にあった日帰





り温泉「岩戸温泉」に寄り、汗を流した後、14時半、「リバービレッジ」と云うキャンプ場に着くも、国道横の狭いスペースに砂利が敷いてあり、どこに張ってもいいところ



と。自転車もどこでもいいと云われたので、ローテーブルの横に立て掛けると、雨対策としてテントを立ててくれて、ウエルカムドリンクにアイスコーヒーを出してくれる。来た時は「大丈夫か」と不安だったが、管理人は親切で良かった。おかげさまで、16時半頃、通り雨が降るも問題なく、のんびりできる。

【走行距離55km 獲得標高485m】

【走行時間3:22 平均速度16.2km/h】

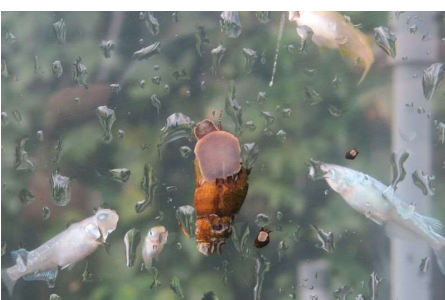
【今日の会計】¥3,526

【リバービレッジキャンプ場評価:4.3点】

アクセスよし、シャワーあり、ウオッシュよし、管理人優し、保冷剤冷凍よし、電波よし、蚊なし、雨除けよし、トイレ近し。充電よし。ランドリーはないが、昨日の観音寺公園に続き、ほぼ完璧なキャンプ場だが、キャンプは片手間で、メインは朝食のみの食堂のようだ。



あるが、アップダウンがあるので、垂水経由にする。大分で買った1キロ920円の「大分こしひかり」でご飯を炊いていると、雨が降り出すも30分ほど止む。トイレの横に水



今日は、鹿児島まで行くのだが、西回りの海岸線は走ったことがあるし、交通量も多いので、東回りで桜島の南にある垂水（たるみず）港からフェリーで対岸へ渡ることにする。桜島を半周して船で渡る手も



●2024年10月16日（水） 8日目 曇り 東3m
霧島↓垂水（たるみず）港↓フェリー↓鴨地港↓鹿児島



槽があり、小さい魚が泳いでいるが、ガラスにタニシの赤ちゃんが一杯くっついていて。キャンプ場のオーナーに聞くと、「タニシはガラスの藻を食べてくれるので、掃除をする手間が省ける」とのこと。そして、9時半、出発



しようとする、「ランチ用に」と握ってくれたおにぎりを3個もくれて、プチ感動。最初はちょっと怖そうなおじさんだったが、いい人でホンマ良かった。記念にツーショット写真を撮り、キャンプ場をあとにする。南下して錦江湾に出ると、**海上に槽が幾つも立っており、何**



のためかわからないが、ボーリングによる地質調査をしているようだ。道端にみかんの直売所があり、10個ほど入って200円とお安いので、購入。「黒酢の郷」と云う観光施設があり、無料な



ので入ってみると、平日なのに観光客が結構いて、外では、醸成中の黒酢の壺が数えきれないほど並んでいる。屋内では、普通の黒酢に加えて、りんご、みかん、ブルーベリーなどの**フルーツ酢の試飲コーナー**があり、全部飲んでみると、結構飲みやすいので、6種



類入ったフルーツ酢セット4500円をうちへ送る。霧島市から垂水（たるみず）市に入ると、あの有名な芋焼酎「**森伊蔵**」のお店があり、裏へ廻ると、白塗りの酒蔵もあり、作業している人がいるので、ここで生産しているのだろう。買うつもりはないが、お店に入ると、陳列されているお酒は一本もなく、聞くと、「人気があり過ぎて、電話



による事前申し込みで、抽選に当たった人だけが受け取りに来るので、陳列する必要がない」とのこと。来客への対応も悪く、殿様商売的かどうか、と思う。垂水のマンホールに





は、**桜島とブリ**が描かれているが、桜島自体はなぜか鹿児島市…桜島は元々、独立した島だったが、溶岩の流出によって東側の垂水とくっついただけなので、今でも桜島は陸続きじゃない鹿児島市のものなのであろう。その桜島が良く見えると

ころにある「道の駅垂水」に寄ると、この辺りで養殖していると思われるブリやカンパチのパックが並んでいるので、夕食用に、ブリの刺身、ブリとカンパチの野菜炒め、そして珍しい胃袋のねぎ塩焼きの3点を購入する。占めて千円はお安い！。陸続きなのに桜島へ渡る白い大きな橋が見えてきて、渡ってからも結構上っているの



で、筆者は、**通行止めだが平坦な旧国道へ**。落石防止柵の工事らしいが、結局、普通に通り抜けることができて正解。海を見ると、**ブイや筏がたく**



さん浮いており、きっとブリの養殖生け簀があの下にあるのだろう。14時、**垂水港フェリーターミナル**に着き、待っている間にランチ弁当を食べて、**片道680円(自転車込み)のフェリー**に乗り込み、対岸の鴨池港へ。



雲がほぼ晴れた雄大な桜島を見ながら、船旅は35分で終わり、6キロ北にある鹿児島市の町へ向かい、途中、ダイソーに寄って、忘れてきた蚊取り線香をゲットして、16時半、いつもの東横イン天文館Ⅱに着き、夕食は垂水で買ったブリカンパチの3点セットに加えて、今朝、キャンプ場のおじさんから頂いたおにぎり3点セット。お昼に食べたらかったが、完全に忘れていた…。

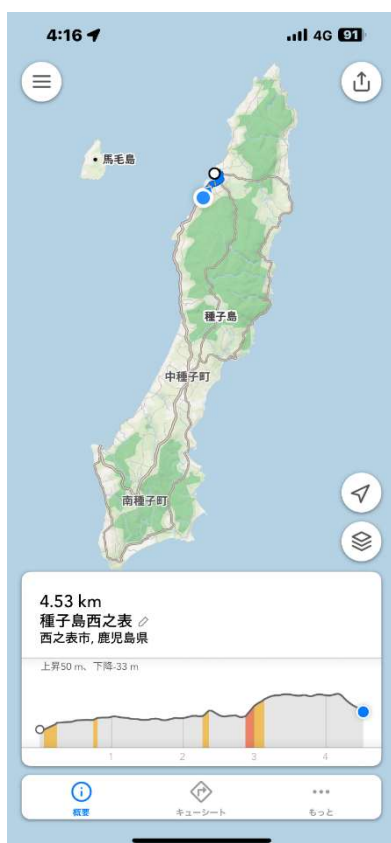
【走行距離60km 獲得標高265m】

【走行時間3:29 平均速度17.2km/h】

【本日の会計】¥17,001 (ホテル代¥6,270、黒酢ヤシタ¥5,210、フエリー代¥680含む)

●2024年10月17日(木) 9日目 曇り 東4m

鹿児島港↓フェリー↓種子島西之表港↓大瀬



今日は、フェリーに乗って生まれて初めての種子島へ行く旅。8時40分出港だが、自転車は1時間前に来てくれ、と云われたので、6時半に慌てながら朝食を食べて、7時過ぎにホテル



を出て10分で鹿児島港に着く。ターミナルに入ると、「本日久航」の看板があり、プチドッキリするも、屋久島行きであった。種子島行きは毎日一往復しているが、掲示板には、**日曜だけ何故か運休**とあり、種子島から鹿児島へ戻る日が今週の日曜日なので、ドキッ

期日：令和6年10月～令和6年12月

10月	・・・6日(日)・13日(日)・27日(日)
11月	・・・3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)
12月	・・・1日(日)・8日(日)・15日(日)・22日(日)



としたが、よく見ると、何故かその日だけ運休になっておらず、プチラッキー。相変わらず、公共交通機関との相性はいいようだ。8前に乗船すると、テレビルームがあり、9時からBSで、大谷さんの試合を観戦。3時間半の船

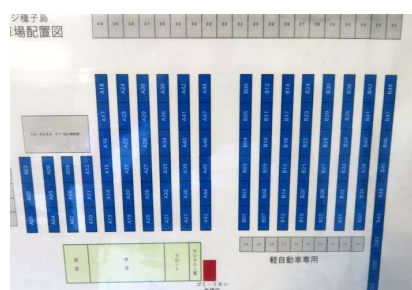


海浜公園で見つけた東屋で、スーパードで買った**焼きサバ弁当**と**イカ天**を食べていると、雨が降ってくるも、30分ほどで止む。歯磨きをして、ぺっしよと海に近づいたら、コンクリに苔が付着してい





て、滑って転倒！打撲や怪我はなかったが、短パンとレーサーシャツがドロドロになり、プチ凹む。水場がないので、ウエットティッシュで取り敢えず拭いて、4キロ先の宿へ。この辺りにはキャンプ場がなく、ホテルや民宿を探したが、どこも満室で、やっと



空いていたコンテナハウス「58ビレッジ種子島」に着くと、青いコンテナが数えきれないほど並んでいて、プチびっくり。聞くと、ここから近い馬毛島というところで、タッチアンドゴーの練習をする自衛隊の空港を作っているとのこと。工事業者で人口が急増しており、宿泊施設が足りないのです。早くできるコンテナハウスがあちこちにできているらしい。なので、宿代は朝食付き9000円弱で高いが、仕方ない…。そして、急遽、洗濯する必要ができてしまったので、聞くと、無料の洗濯機があり、洗剤もあるとのこと。プチラッキー。しかし、部屋にあるテレビは、地上波やBSが入らず、聞くと、ネット配信媒体しか見られないとのこと。仕方ないので、ネットフリックスに入会し、前から観

たかった「地面師たち」を、ポトフとイカ天をつまみにして観る。

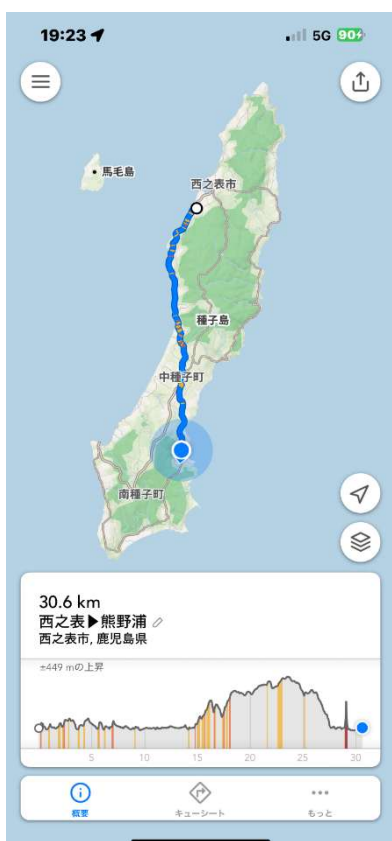
【走行距離8km 獲得標高61m】

【走行時間0:36 平均速度14.0km/h】

【本日の会計】¥15,567(宿代¥8,570、フェリー代¥6,000含む)

●2024年10月18日(金) 10日目 晴れ 南東4m

種子島西之表→中種子→熊野浦



今日は、宇宙センターのある南端よりチョイ北にあるキャンプ場まで約30キロの旅。7時に起きて、まあまあの品数がある朝食を頂き、9時過ぎに、5回しても出発ジャンプが決まらず、諦めて





出ようとすると、サングラスプレートがない事に気づき、ハウスに戻り、テレビ台の下に入り込んでいるのを発見！晴れていなければ、と思うと危ないところであった。海岸線



象より昔の化石で、象であるのは間違いないが、属種は特定されていないため、西之表象と呼ばれているとのこと。そして、次はレンコンの説明板と波を打



った壁面があり、漣痕とは、数千万年前、海底にできたさざ波状のでこぼこのことで、それが地殻変動によって垂直に



の道を守る国道58号線は車やアップダウンが少なく、快晴なので眺めも最高！茶色の盛り上がったような少し気持ち悪い奇岩があり、このあとも所々で見ることが出来る。マグマが徐冷されてきたのかも。ソウ化石が発見された場所があり、読むと、あのナウマン

ると、種子島より望む島々地図があり、あの空港を作っている馬毛島は日本で2番目に大きい無人島とあるが、空港ができたなら人が住むようになるのだろうか、気になる。屋久島以外の三つの島は小さいけど有人で百名程度住んでいるらしいが、いずれ無人になるのだろうか。小さ



なお店に入ると、種子島の安納芋が8個ほど入って300円で売っている。安い、8個も要らないので、スルーして進むと、それらしい芋畑が見えてくる。一面遠くまでずっと芋畑である。1





2時、中種子町自然レクリエーション村キャンプ場に着き、ランチ後、干潮時だけ中に入る「千座(ちくら)の岩屋」が近くにあり、丁度、干潮時刻なので、見に行くと、砂浜の向



こうに茶色の大きな岩肌が見え、右の方からアプローチすると、洞窟が幾つもある！中へ入ると、岩屋は意外に広く高さもある。枝分かれした先は、貫通しており、水平線がよく見え、浸食された洞窟内の岩はなぜか黒光りしているのもある。千人もの人が入れるから、千座



(ちくら)の名が付いたらしいが、千人は無理な気がする。でも、ここより狭い青森にある酸ヶ湯の千人風呂でも本当に千人入れたらしいので、詰めればいけるのかもしれない。そして砂浜には、同じ



で「潮間帯に生息する植物」と云う意味で、メヒルギはその一種であり、種子島はその北限地らしい。見たことはないが、ここには、片方のハサミだけ異常に大きい「シオマネキ」と云う絶滅危惧種の力二も生息している



色をした、たくさんの赤ちゃんカニが縦横無尽に走り回っており、一匹捕まえてみる。ハサミは一応あるが、全然痛くない。キャンプ場へ戻る途中、「阿嶽(あたけ)川マングローブ林」があり、目の前には、メヒルギと云われる低木群が良く見える。マングローブとは、マレー語



ようで、一度見てみたいものである。15時にキャンプ場へ戻り、設営してから、近くの日帰り温泉「中種子町温泉保養センター」で汗

を流し、クリームシチューを作って食べて20時に寝る。



【走行距離40km 獲得標高285m】

【走行時間2:39 平均速度15.2km/h】

【本日の会計】¥3,422

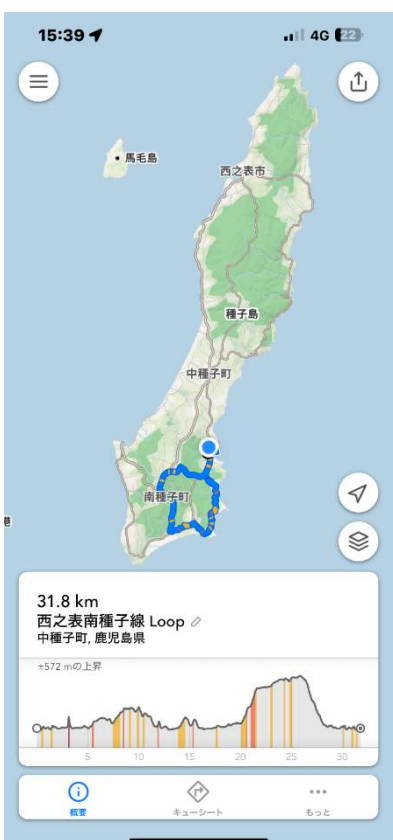
【中種子町自然レクリエーション村キャンプ場評価：41点】

アクセスよし、温泉あり、ウォッシュなし、管理人優し、保冷剤冷凍よし、電波2本、蚊少々、雨除けよし、トイレ近し。充電よし。ランドリーなし。離島のキャンプ場としては、合格点。連泊しやすいが、近くにコンビニやスーパーが全くないので要注意。

2024年秋のチャリキャンプひとり旅(その三)

野田 俊

●2024年10月19日(土) 11日目 晴れ曇り 南西4m
種子島熊野浦↓JAXA↓南種子↓熊野浦



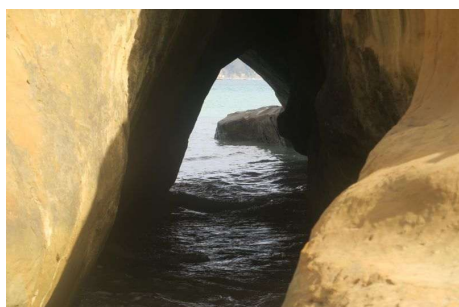
今日は、ルート図のように、種子島の南岸付近にあるJAXA関連施設を巡って、キャン



プ場まで戻る約30キロの旅。6時過ぎに起きて、快晴の中、朝陽を浴びながら、いつもの朝食を済まして、9時前に出発すると、管理棟横に看板があり、「ね



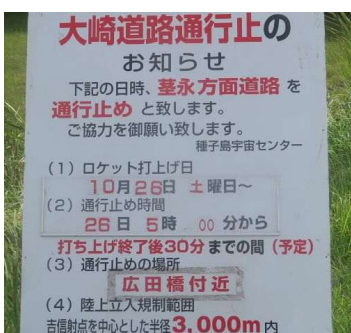
「ねじの伝来地」と書いてある。種子島と云えば鉄砲だが、火縄銃の銃身の底を塞ぐのに使われていたのがネジで、五百年ほど前の当時、日本にはネジと云う概念がなく、ここ熊野灘に來航したポルトガル



人に教えてもらい、初めて日本製の火縄銃が完成したとのこと。昨日行ってプチ感動した千座(ちくら)の岩屋に寄ると、洞窟は海水で満たされていて、全く中へは入れない…。田舎道を南下していると、通行止めの看板があり、ドキッとすると、丁度、一週間後の土曜にH30ケットの打ち上げが予定されており、当日の交通規制予告なので、ホッとする。後で知るが、元々は今日の発射予定

だったらしく、遅れなければ、この規制図のように、全く近寄れなかった。意

味、ラッキーである。しかし、大型





ロケット発射場
付近まで行く
と、道路にいた
警備員に止めら
れて、「これか
らロケットを組
み立て棟から発
射台まで陸送す
るため、あと1

0分ほどで一時間閉鎖するが、今なら通ってい

いと云われ、ホツとしながら、高台に上っていくと、左手方向の1

キロほど先に大きな発射台が見えてきて、プチ感動！発射がある時

は、7キロほど離れた一般見学場所まで遠ざけられるので、こんな風

には見えないだろう。更に南下すると、南端付近にロケットと「宇宙

科学技術館」が見え

てくる。無料なの

で、中へ入り、一通

り見学していると、

種子島に基地がある

理由は赤道に近いか

らで、自転による遠

心力効果があるらし

い。そして、JAX



「MOON-TECH®」Tシャツは、
閉鎖された環境である宇宙ステーションでの
快適な生活のためにJAXAと東レが
共同開発した商品です。

<機能>

- ①吸汗速乾 ②汗ジミ防止、
- ③消臭 ④防汚 ⑤皮脂除去
- ⑥抗菌 ⑦ストレッチ ⑧透け防止
- ⑨UVカット ⑩洗濯後の速乾
- ⑪防シワ ⑫高耐久

Aが新たに開発した
H3ロケットは、ロ
ーコスト、短納期、
確実性に優れてお
り、来週打ち上げら
れるのは4号機との
こと。順調に飛んで
欲しいものである。

売店へ行くと、宇宙ステーションで快適な生活
が送れるように、JAXAと東レが共同開発し

たムーンテックTシャツがあり、吸汗速乾、消臭、抗菌、高耐久性など

12項目もの機能がある。自転車キャンプ生活にはぴったりなので、

7500円はチト高いが、買うことにするも、在庫がなく、展示して

あるMサイズの現品限りとのこと。Mはピチピチになるので、悩んだ

が、結局購入するこ

とに。ここからは、

海岸線をなぞってか

らキャンプ場へ戻る

つもりだったが、結

構暑いし、アップダ

ウンも多そうなの

で、ビールを買った

め、標高180mの





内陸部にある南種子町に寄ってから戻ることにする。ハイビスカスの花だろわか、道路脇に並ぶ赤い花群を眺めながら、登るも、とにかく暑

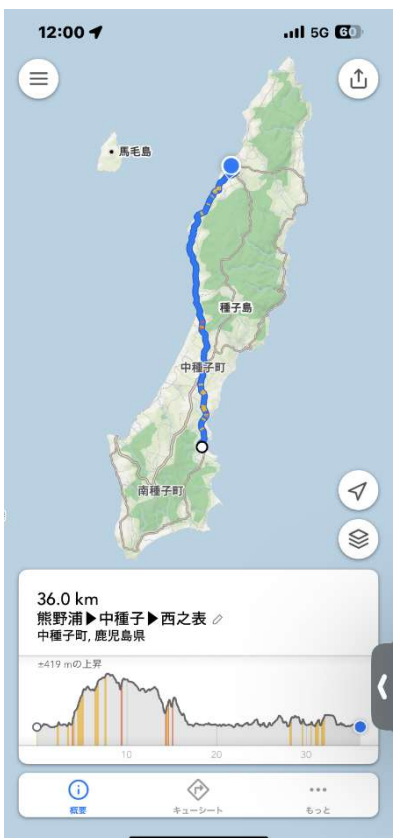
い！腕から汗が噴き出して粒になっている



。13時過ぎ、キャンプ場に戻り、太巻とイカ串で一杯呑み、昨日も行った日帰り温泉に入り、帰ろうとすると、玄関にちよっと大きめのカニさんが！通路を中に入っていこうとするので、捕まえて、外へ逃がしてあげる。受付のお姉さんが「よく入ってくるのよ。困るわー」と云いながら、捕まえた写真を撮ってくれる。いつものようにクリアムシチューを作って食べて20時に寝るも、明日の天気予報を見ると、朝6時から降水確率50%…13時半のフェリーだが、早めに出発することにする。昼間のことだが、雨の時に使うフロントバックの濡れ防止カバーがないことに気付き、思い返すと、二日前のコンテナハウスで乾かした記憶があるので、電話すると「あります」とのこと。明日、丁度、西之表港へ行く途中通るので、その時に受け取ることにする。サングラスと云いレインカバーと云い、忘れるもののプチラッキー。



今日は、二日前に来た道を戻り、フェリーで鹿児島まで渡る約40キロの旅。当初予定では、島の真ん中を北上して種子島空港を通るルートだったが、昨日と真逆の北風で、超向かい風なので、二日目と同じ一番楽なルートにする。早めの5時半に起きて、朝食抜きでテントを撤収し、7時過ぎに二日お世話になったキャンプ場を出発。予報の雨はまだ降っておらず、午前中は何



【走行距離41km 獲得標高517m】
 【走行時間2:43 平均速度14.9km/h】
 【本日の会計】¥10,932 (トシャツ代¥7,480含む)
 ●2024年10月20日(日) 12日目 曇り 北東8m
 熊野浦↓中種子↓西之表港↓フェリー↓鹿児島



ちを見ている。犬はいつも吠えられるので嫌いだが、牛や馬ややぎはおとなしいので好きである。出発から4時間もかかって、やっと「58ピレッジ」に着き、無事、**レインカバーを回収**して、港へ向かい、種子島と云えば鉄砲なので、港の近くにある鉄



二で30分の朝食休憩。この町にも、**目新しいコンテナハウス**があり、空港建設バブルだが、建設が終わったら、きつと無くなるのだろ、と思うと、なぜか悲しい。牛舎には、**高級黒毛和牛である種子島牛**がいて、自転車~~が~~珍しいのだろ、みんな、じつとこ



とか持ちそうだ。高低図のように、中種子の高台を越えれば、海岸線の楽な道になるのだが、向かい風が強くてなかなか進まないの

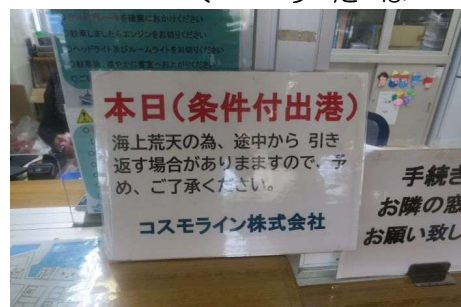


は、まだ一周していない徳之島に寄ってから、沖縄本島經由石垣島と西表島を巡り、今回最大のミッションである与那国島へ行く予定だったが、徳之島の天候が悪いし、沖縄に台風が近づいているた

と、「**条件付き出港**」の紙が貼ってあり、与論島の悪夢が頭をよぎるが、お姉ちゃんに聞くと、「一応そうしているが、引き返すことは滅多にない」とのこと、ホッとす。缶ビール付きのランチを済まし、13時前に乗船し、2時間半ほど雑魚寝部屋で爆睡して起きると、曇ってはいるが、丁度、開聞岳が遠くに見える。4時間の船旅を終えて、コスモラインフェリーを下船し、18時前、鹿児島島の東横インに無事チェックイン。今後だが、計画で



砲館へ寄るも、休憩日では入れず、写真だけ撮ってフェリーターミナルへ。窓口へ行く



め、一旦、奄美大島に近い、まだ行ったことがない喜界島へ寄ることにする。

【走行距離38km 獲得標高551m】

【走行時間2:56 平均速度13.1km/h】

【本日の会計】¥17,087（フェリー代¥6,000、ホテル代¥5,000、土産代¥20含む）

●2024年10月21日（月） 13日目 晴れ曇り 東6m

晴れてはいるが、昨日同様、強い風が朝から吹いており、嫌な予感が出ていたところ、案の定、**喜界島行きフェリーの欠航**が決定したため、あらかじめ予約していた東横インに連泊することに。走らないけど、朝食はがつり頂き、9時からメッツとのリーグチャンピオンシップシリーズ第6戦を部屋で観戦。レギュラーシーズンは既に終わり、プレーオフでパドレスに何とか勝ち抜けたドジャースは、リーグ優勝決定戦でもメッツに3勝2敗とリードし、今日の試合でも大谷さんの活躍で、10-5で勝ち、ワールドシリーズ進出が決まる。その



試合をライブで観れたの

は、フェリー欠航のおかげだ。ランチは、鹿児島に来たらいつも食べる油そば専門店「兎」へ行き、メンママシマシ油そばをディクアウトする。喜界島には港の近くに良さそうなキャンプ場があるものの、明後日は雨予報なので、宿を探すも全く空いていない。種子島同様、工

事業者が全て押さえているようだ。

【走行距離3km 獲得標高15m】

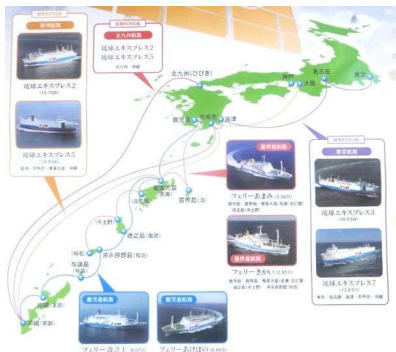
【走行時間0:11 平均速度15.3km/h】

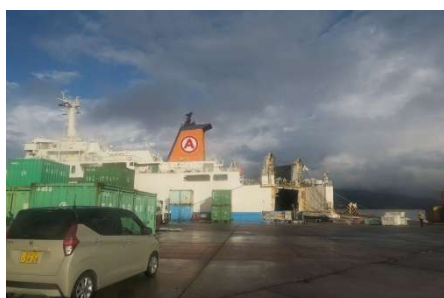
●2024年10月22日（火） 14日目 雨 南東3m

今日は風が弱くなり、終日雨予報だが、夕方発の喜界島フェリーは運航が決定！雨が一旦止みそうな昼までホテルのロビーで過ごし、買い出し後、12時半にフェリーターミナルへ。**奄美航路運航ルート図**を見るとよくわかるが、喜界島は奄美大島の東にあり、フェリーで沖縄本島まで五つの奄美群島を巡ることができる。そして知らなかった



が、東京から名古屋、油津（宮崎）、志布志（鹿児島）を寄港して那覇まで行く航路や、神戸から大阪、

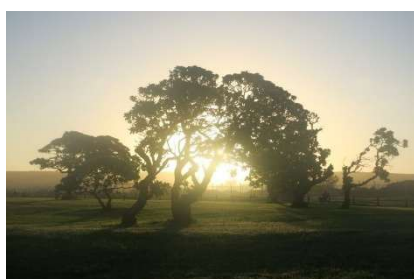




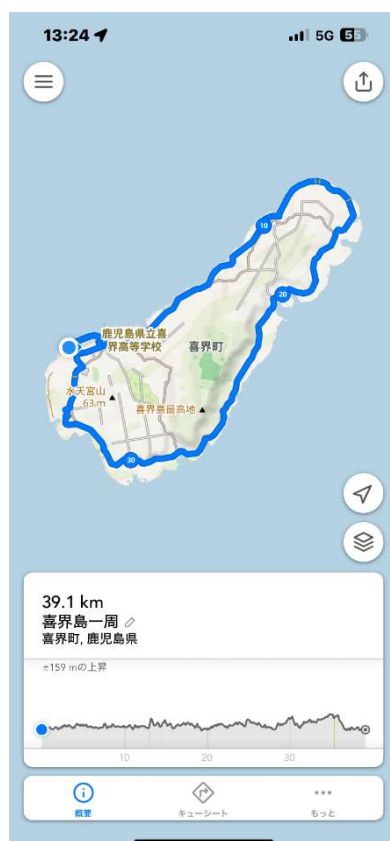
板に乗り入れてできる貨物船のことで、国内で海上輸送される貨物は、今や、ほとんどがRORO船かフェリーが使われているらしい。喜界島のポスターも貼ってあり、**サンゴ礁が隆起してできた島**なので、海岸線は砂浜じゃなく岩場のようにゴツゴツしている。午後になっても

志布志、奄美大島を寄港して那覇までの航路もあるーと思ったら、「**貨物RORO船**」と書いてあり、貨物だけで人は乗れないようだ。調べると、RORO船とは、フェリーのようにトラックやトレーラーが車輛甲

雨は止まず、15時頃には土砂降りになるも、乗船する16時半には丁度、雨は止み、全く濡れずに乗船できる。フェリーは17時半に鹿児島港を出て喜界島に着くのは翌朝の5時



3時半に起きてシャワーを浴び、5時に下船すると、南国らしく空気が生ぬるい。まだ真っ暗なので、明るくなるまで待合室で待ち、6時に近くのスギラビーチにある「**空港臨海公園キャンプ場**」へ行く



…意外に長いが、**雑魚寝部屋**で寝ていけるので気にはならない。
【走行距離2km 獲得標高10m】
【走行時間0:10 平均速度13.0km/h】
【本日の会計】¥14582 (フェリー代¥12,950含む)
●2024年10月23日(水) 15日目 晴れ一時雨 北3m
喜界島港→スギラビーチ→喜界島一周→スギラビーチ



が見え始め、反対側にはサンゴに囲まれた静かな海が！。喜界島は一周が約40キロしかなく、サンゴでできたからか、離島にしては比較的に平坦な島で、天気も

良さそうなので、キャンプ場にバッグをデポして、一周してみることにする。その前に、まず

腹ごしらえしなければならないので、近くのスーパーへ行くと、まだ7時なのにもう開いていて、工事業者の人たちが群がっている。彼らは朝食とランチをここで調達して工事現場へ向かうのだろうか。普通の

▲おにぎりもあるが、メインは俵型のおにぎりなので、ランチョンミー

トとポークたまごを買って食べる。島は時計回りに廻ると、道の左側が海になるので、自転車

から海が良く見える。逆に琵琶湖など湖や池は反時計

回りに廻るのが基本である。その海岸線を北へ進む

と、大きな池があり、いくつもの水車が激しく回っている。離島でよく見かける



東日本大震災漂着船
Ship Washed Ashore By
Great East Japan Earthquake



車海老の養殖場だが、なぜ離島に多いのだろうか…考えてもわからない。サトウキビ畑が広がる田舎道を走っていると、「東日本大震災漂着船」の道標があり、寄ってみる



と、想像していたのと違う小さい漁船が横たわっている。地震から14カ月後、1400キロ離れた気仙沼から、この浜に流れ着いたと書いてある…走り始めて1時間、島の北端トンビ崎に着くも、ゴツゴツしたサンゴ岩が広がっていて、近寄りがたい雰囲気がある。島の東岸

には、サンゴを積み上げた石垣群があり、島の

観光ポイントになっている。そして、民家の近くには、白い山羊

さんがいて、牛同様、じつとこつちを見ている。沖縄もそうだが、

南国には、なぜかヤギ





を飼っているうちが多い…考えてもわからない。山の方でゴロゴロと音がし出し、雨雲リーダーを見ると、こっちの方に向かっていて！その10分後、大粒の雨が降り出したの



で、雨宿りできる場所を探すも、なかなか見つからない…。**空き家っぽい**うちがあったので、軒先に自転車を停めて、何気なく窓の中を見ると、なんと人が座ってテレビを見ている！不法侵入である。「すみません。雨が止むまでいらしてください」とお願いするも、居づらいので、少し小降りになった時点で軒先を出る。雨



雲は結局30分ほどで去り、青空に変わったところで、**手久津久(てくづく)サンセットビーチ**に、できたばかりと思われる喜界島のモニメントがあったので、三脚とセルフタイマーでシャープを決める。この少し手前には、手久津久の巨大ガジュマルもあり、島一番のパワースポットらしい。高さ18m、幹回り16m、枝幅は42mもあると書いてあるが、見ている限り



は42mもあるとは思えない…3年前に**沖永良部島**で出会った「**日本一のガジュマル**」の方が大きい気がするが、寸法的には、高さ7m、幹回り6m、枝張り2

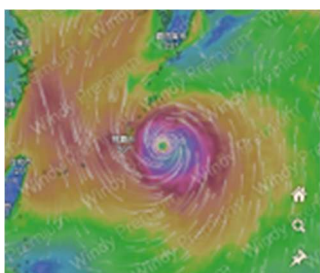


3mしかない。でも、枝張り23mは日本一らしく、同じ鹿児島県なのに、矛盾している…。寸法が正しければ、全てにおいて、手久津久の方が日本一である。12時、キャンプ場に戻ると、空港の滑走路が目の前なので、**JALのプロペラ機**が丁度離陸していく。鹿児島が奄美大島行きだろう。夕方になると、地元の家族



連れだろうが、**サンゴの壁に囲まれて波が全くないスギラビーチ**で、楽しそうにしている。でも、明日は、遙か南方にある台風20号の影響で、終日雨の予報だ、そして、その後も台風がい





くつも連続して、沖縄本島や与那国島がある先島（さきしま）諸島を通るようで、石垣島へ行く一週間後の風アブリでは、那覇の東で大きな渦を巻いている。こんな状況で沖縄へ行っても、身動き取れないことになりそうなので、明後日のJAL便で、奄美大島経由伊丹へ帰る決断をする。



キャンプ場には、シャワーやトイレがある大屋根の建物があり、明朝から雨予報だが、雨は十分凌げそう。よってテントはすぐ横に設営する。暑いので、テントのフライシートを外したままにしたが、夜の3時頃、雨が降りそうなので、フライシートをセットしたら、その直後から雨が降り出して、何とか濡れずに済む。

【走行距離49km 獲得標高156m】

【走行時間3:07 平均速度15.8km/h】

【今日の会計】¥2,149

【空港臨海公園キャンプ場評価：3.5点】

アクセスよし、無料冷水シャワーあり、ウォッシュなし、保冷剤不可、電波3本、蚊なし、雨除けよし、トイレ近し。充電なし。ランドリーなし。利用料は300円。

●2024年10月24日（木） 16日目 雨 東5m



元々、今日は、早朝のフェリーで奄美大島へ渡り、翌超、沖縄行きフェリーに乗る予定だったが、全てキャンセルして、何とか空いていた近くの宿に泊まるだけの日となる。7時に起きると、テントの周りは水浸しなの



で、タープだけ残して、大屋根の下へ全部移し、朝エッセン。昼頃に雨が一時止みそうなので、12時過ぎまで旅レポ作業をして、キャンプ場をあとにする。ランチは、町中で見つけたレストラン「明砂呂（あすなろ）」に入り、1100円のとんかつ定食を注文。宿へ行く前



に、お土産屋さんに寄って、喜界島の名産品である胡麻と黒糖を使ったお菓子をいっぱい買う。14時半、宿に入ると、ツインの広めの部屋で、タープやテントを同時に干すことができ、プチャッキー。夕食は付いていないが、これで6



000円はお得感あり。

【走行距離5km 獲得標高25m】

【走行時間0:21 平均速度13.7km/h】

【本日の会計】¥15,280(宿代¥6,050、土産代¥865含む)

●2024年10月25日(金) 17日目 曇り 東6m

喜界島↓JAL⇩奄美大島↓JAL⇩伊丹↓車↓神戸北町



7時に生卵、納豆、焼き魚など正統派の朝食を頂き、8時半に宿を出て、お土産屋でまた買ってから、空港へ。いつものように一旦、フロントバッグ以外の荷物を全部預けると、40キロの上限に対し、なんと10キロオーバーの50キロ！サイドバッグ一個では足りないので、二個を手荷物として機内へ持ち込むことにする。



フロントバッグを含め20キロほどあるので、重たい…。預けると、1キロ当たり770円の追加料金を取られるので、重くても我慢するしかない。奄美大島行

出発便のご案内			
JAL 3861	与論	11:15	搭乗口 C
JAL 3726	鹿児島	11:40 遅れ	搭乗口 C
JAL 2464	大阪(伊丹)	12:05	搭乗口 A
JAL 382	鹿児島	12:05	搭乗口 B
JAL 3728	鹿児島	13:15	搭乗口 B
JAL 658	東京(羽田)	14:15	搭乗口 C
JAL 3730	鹿児島	14:35	搭乗口 C
JAL 3837	喜界島	15:45	搭乗口 A
JAL 3464	鹿児島	16:10 欠航	搭乗口 B
JAL 3734	鹿児島	17:30	搭乗口 B

きプロペラ機は離陸しても雲の下を低空飛行して、たった15分で着陸してしまい、プチびっくり。ジェット機に乗り換えても、90分で伊丹に着くので、飛行機は便利だし、近く感じる。奄美大島空港で出発を見ると、鹿児島行きが多いが、羽田便もあり、与論島にも行ける。奄美大島には、明石家さんまさんの娘や嵐の大野くんも住んでいるらしいので、会ってみたいものである。

【本日の会計】¥54,237(↑A↓代¥44,010、土産代¥4,567含む)

